

令和7年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

校番 23 学校名 呉市立安浦中学校

a 学校教育目標	ふるさとを愛し、よりよい未来の創り手となる生徒の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション>(学校の使命) ○自校や郷土に誇りと愛着をもち、地域社会に感謝・貢献する児童の育成 ○様々な人々と協働して、主体的に課題解決に取り組む児童の育成 <ビジョン>(将来の学校像) 次の新しい時代を担う人材となる児童生徒には、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な未来の創り手となることが求められています。安浦中学校区は、小中一貫教育を通して、ふるさとを愛し、よりよい未来の創り手となる児童生徒を育てるという目標を共有し、地域に根ざした防災教育と児童生徒の主体的な学びを推進することで、持続可能な未来の創り手として必要な資質・能力を育てる学校を目指します。
----------	----------------------------	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	各種学力調査における本校の学力の課題は、3割未満生徒が30%存在することである。基礎・基本の徹底にしぼって、今年度は研究を推進する。また昨年度、地震や豪雨災害により大きな被害を受けた輪島市立東陽中学校に図書を寄贈することで、西日本豪雨の際に受けた恩をつなぐことができた。被災地安浦に生きる住民の一人として、防災意識を高め、ふるさと安浦に貢献する態度を育成する。
------------------------------	--

育成を目指す資質・能力	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」「感謝・貢献」
-------------	---

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・3 年目)

重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	自己評価					
						上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
***	主体的・対話的で深い学びを実現し、確かな学力の向上を図る。 貫	学びの基礎・基本を定着させる。 思考力・判断力・表現力を高める。	○授業の中に、基礎・基本を定着させる時間を確保する。 ○思考スキルを活用しながら、協働的な学びを仕組む。	学力調査において、全国平均を上回る生徒の割合。	50%以上						
*	「自分の命は自分で守る」力を育成するとともに、地域の防災に貢献する。 貫	保護者・地域と連携した防災教育を推進し、「自分の命は自分で守る」力を育成する。	○生徒会主催による防災集会を開催し、生徒の防災意識の高揚を図る。 ○1年生の防災教育を、地域への貢献活動につなげる。	自分が住む地域で起こりやすい災害について理解している生徒の割合。	100%						
**	感謝と貢献の心を持ち、協働して取り組むことのできる心を育む。	仲間や学校、地域への感謝・貢献の心を育てる。 教育活動全体を通して礼節と規範意識を醸成する。	○ふるさと学習を充実させ、地域への貢献活動を取り入れる。 ○みちクリーン活動の充実。 ○「学びのすすめ」を活用し、小中共通した生活規律の徹底を図る。 ○規則正しい落ち着いた生活環境を創造し、自己肯定感の向上を図る。	自分の地域が好きと回答する生徒の割合 “自分には良いところがある」と回答する生徒の割合	90%以上 85%以上						
業務改善	働き方改革を推進する。	生徒と向き合う時間を確保する。	教職員のアイデアを引き出し、業務改善・業務削減をダイナミックに推進する。	日々の業務の中で充実感を得られていると感じる教職員の割合。	85%以上						
いじめの防止	安心・安全な学校風土を醸成する。	全ての生徒が安心して学べる環境を創造する。	○生徒会が主体となっていじめ撲滅キャンペーンの取組を行う。	「いじめはどんなことがあってもいけないことだ。」と回答する生徒の割合。	100%						
			○生徒との面談を充実させ、親和的な関係を構築し、学級に安心・安全な学級風土を醸成する。	クラスではホッとできると回答する生徒の割合。	90%以上						

【k: 評価】
 A: 100 ≤ (目標達成) B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100
 C: 60 ≤ (もう少し) < 80 D: (<できていない) < 60